

重要なお知らせ：

米国税関による航空貨物事前スクリーニング (ACAS) の強化

継続的な航空セキュリティの脅威に対応するため、米国税関・国境警備局 (CBP) は2025年11月21日に航空貨物事前スクリーニング (ACAS) プログラムを強化しました。

このプログラムに基づき、FedExのような航空会社は、自社のグローバルネットワークを経由する特定の国際貨物について追加のデータを収集する必要があります。現在は段階的な施行期間ですが、CBPによる最近の発表では、厳格な施行が2027年5月1日から開始されることになりました。

追加のデータ項目

お客様の貨物を安全かつ効率的に輸送し続けるため、貨物の詳細情報に新たに必須となった以下のACASデータ項目が含まれていることをご確認ください：

- 受取人のメールアドレス
- 受取人の電話番号
- 配送先の名前と住所
(荷受人と異なる場合)
- 荷送人が確認済み特定荷主かどうかの状況

特定の状況では、荷送人から以下の追加データ項目を提出していただく必要があります：

- 荷送人のメールアドレス
- 荷送人の電話番号
- 経歴情報 (Biographic data)
- 製品を購入するために受取人が使用したデバイスの実際の接続元IPアドレスまたはMACアドレス、および
 1. URLリンク；または
 2. SKU番号

知っておくべきこと

スムーズな移行に備え、貨物の遅延の可能性を避けるために、出荷システムに必要なデータ項目を入れるかどうか確認することをお勧めします。

これらの更新に関する背景については、連邦官報の正式な通達および CBP の ACAS の強化に関するFAQ をご確認ください。

